

東京福祉会だより

第84号 (通刊107号) 平成31年1月発行

郷音

ひびき

「響」とは「郷」の「音」と書きます。私ども東京福祉会では、この温かなものを大切に「心に響く葬儀」を目指しております。



今号の
エッセイ

「歌もうたえば山にも登る ～病と挑戦の日々～〈前編〉」

アナウンサー 国井 雅比古氏

新年のご挨拶/100周年への想い/平成30年度物故者永代慰霊法要 御礼と報告
創立100周年記念 会友Bプラン加入キャンペーン/東京福祉会からのお知らせ

おかげさまで創立100周年



社会福祉法人 **東京福祉会**

新年のご挨拶



社会福祉法人東京福祉会
理事長 原山 陽一

新年明けましておめでとうございます。
2019年の年頭にあたり、謹んで新春
のお慶びを申し上げます。

大正8年(1919年)に「貧困により
葬儀を営むことができない人々の救済」
のために創設された東京福祉会は、本年
11月6日、創立100周年という記念すべき
日を迎えることとなりました。この年を
迎えるまでには、震災や戦災等、幾多の
困難がありました。それらを乗り越え
ることができたのも、ひとえに地域社会
や多方面に亘る関係各位のご協力の賜
物と、心より感謝申し上げます。

昨年は、東京福祉会初の中期経営計
画「経営戦略5か年計画」の最終年であ
りました。

これは葬儀の小規模化や簡素化が進
む中で、法人としての停滞感もさること
ながら、故人の尊厳を守る最期の儀式と
しての葬儀の価値、その本質的な意義が
見失われつつあることへの危機感から策
定されたものです。

この5年間、チーム制による組織力の
向上、明確な料金プランの提示、そして
血縁者のみで弔いを完結してしまうので
はなく、知人・友人として縁のあつた
方々にも参列の輪に加わっていただく
「近親葬」の提唱等、計画達成のため取り
組んでまいりました。

本年からは、さらなる顧客満足度の向
上と売上確保、社会福祉法人としての
責務を強く自覚した事業展開のため、
「3.3か年計画」を新たに策定、実施しま
います。

また100周年事業の一環として、練馬高
松園、第2練馬高松園に続き、地域に根

ざした高齢者福祉の拠点となることを
目指し、3か所目となる特別養護老人
ホームを建設することも決定しました。

これらの実現に向けて、顧客や地域の
方々へのより積極的なアプローチ、研修
を通じた職員一人一人の自律的成長の促
進、経営体質の強化等、強い意識と決意
をもって、業務に尽力していく所存です。

さて、2019年は十二支締めくくり
である亥の年になります。

非常に力強く、真つすぐに前進する猪
ですが、その速さと強さは、しっかりと踏
みしめる大地があつてのことです。

私共も亥年にあやかり、創立100周年とい
う節目に向けて原点と現状を再確認し、
足元をしっかりと固め、社会福祉の発展
と向上の一翼を担う団体として邁進し
てまいります。

今後とも何卒変わらぬご指導、ご鞭撻を
賜りますようお願い申し上げます。

100周年への想い



東京福祉会葬祭部門では、約120名の職員が「その人らしいご葬儀」のため、施行業務や電話応対など様々な職務に取り組んでいます。100周年に向けた職員の想いをご紹介します。

「一期一会を大切に」

私は、東京福祉会が100周年を迎える年に、入職20年目となります。

東京福祉会の歴史に比べたらまだまだですが、20年の間には、結婚、家族の誕生、親の死去等、様々なことを経験しました。

人生の重要な節目に東京福祉会があり、そして100周年となる今、偶然にも在籍させていただいていることは、感謝しかありません。

私の大好きな言葉の一つに「一期一会」がございます。一生に一度の出会いを大切にすべきという意味です。

出逢うことができた、ご利用者様、近隣の皆様、関係協力業者様、先輩後輩職員、そして東京福祉会に感謝をして、次の100年を目指し、努力してまいりたいと思えます。

江古田斎場

副場長 大山豊

幸福な社会の実現

この職についてから、「社会からの孤立」を象徴するような、凄惨な現場を何度も目にすることがありました。また、ご両親から生を授かった方々が、誰にも見送られることなく、私達の手によって納骨堂に納められる光景は今でも胸が締め付けられます。しかし、これらの経験によって、東京福祉会が背負っている、社会に対する「責任」「使命」の崇高さを改めて感じています。

東京福祉会もいよいよ100周年を迎えます。記念すべきこの年に、前身である助葬会の「創立理念」を尊重し、現在まで社会福祉法人として使命を果たしてきた東京福祉会の一員であることは、感慨深いものがあります。

今後も創立理念を基礎とし、社会福祉の理想でもある「幸福な社会の実現」を、東京福祉会の職員やご支援を下さる皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

業務本部 福祉課

主任 荒山 一弥

心に寄り添い、支える仕事

私は東京福祉会に入職して2年目ですが、まだまだご葬儀を担当させていただくたびに新しい経験があります。その私にとって、「世紀前からの引継ぎの上」に自分が働いているということは、途方もないものを感じられます。

私は現在、ご葬儀の打合せをさせていただく際には、心残りのないお別れをしていただくためにご家族のご希望をよく聞き、故人様らしさをご葬儀に反映できるよう努めています。

慌ただしいご葬儀の中でも気持ちにゆとりを持ってお別れをしていただけるように、ご希望を伺うだけではなくご負担を減らせる適切なアドバイスとご提案がもつとできればと考えています。そのために着実に知識と経験を積み重ねていくことがこれからの私の課題であり、日々勉強していきたいと思っております。

業務本部 業務課

野口智世



100周年に向けた職員の想いは、100周年記念サイトでもご覧いただけます。
<http://www.fukushikai.com/anniversary>

歌もうたえば山にも登る

病と挑戦の日々 前編

アナウンサー
国井雅比古

生活習慣病

ストレスと

生涯一アナウンサーとして40年近く放送の現場で仕事をしてきた。放送は事件、事故、災害など何時おきるか解らない突発的な出来事に瞬時に対応しなくてはならない。私の場合、報道系の仕事が少ないから何週間も災害現場に貼り付けになるようなことはなかったが、例えば「プロジェクトX」のようなスタジオ番組でも現場での取材やリポートの収録、スタジオでのコメント作り、インタビュー、その編集への立ち会い、そして次回の打ち合わせなどが同時進行で迫ってくる。いつも時間との闘いといっている。時には言葉の微妙なニュアンスが番組の理解や印象に大きく影響するため、何度取り直しをすることもある。コメント一つをめぐる徹夜になることも珍しくない。しかし時間は無限にあるわけではない。「これでよし！」とどこかで決断するほかない。それでも視聴者からは厳しい評価を下される。

こうしたストレスがたまる仕事を40年近くやってきた。ストレス解消と称して、好きな酒も人一倍、いや三倍ぐらいいは飲んだし、タバコは一日二箱、多いときは三箱におよんだ。これから記すのは健康と病気の危ういさまを綱渡りしてきた一アナウンサーの記録である。

突然、心筋梗塞

の疑いで入院

御多分にもれず、それまでの不規則な生活と時々の暴飲暴食がたたり、五十代初めには高血圧、高脂血症、歯周病、糖尿病予備軍など生活習慣病を示す数値が上がりに始めていた。それでも頭が痛いとか、心臓がときどきするといった症状は全くなく、それまで通りの不規則で、酒も飲みタバコも吸う生活を送っていた。が、とうとう55歳の秋、突然、心筋梗塞の疑いで入院せざるを得ない羽目におちいった。それは「プロジェクトX」の収録の日だった。秋の健康診断で心電図に異常が見つかり、大学病

院の専門医がこの日の午前中、Zエスの診療所にくることになっていたの診てもらった。若い医師だった。改めて撮った心電図を見るなり「即入院です！」という。「今日はダメです。番組の収録があるので」「番組と命とどっちが大切ですか?」「それは命ですが」こんなやりとりをしていてもラチはあかない。医師は誰か他のアナウンサーに代わってもらえると簡単に考えていたのだろう。ところがそうはいかない。番組を担当するアナウンサーが固定されている場合、彼(あるいは彼女)はその番組の顔であり、よほどのことがない限り変えられない。つまり「余人をもって代えがたい」のだ。アナウンサー本人もその原則を守らなければならぬし、守りたいと願う。

車いすと

救急車で入院

診療所から逃げるようにスタジオにむかった。いつものように収録が始まったが、診療所の看護師からたびたび催促の電話がかかる。「まだ終わりませ

PROFILE

1949年(昭和24年)山梨県生まれ。
元NHKエグゼクティブアナウンサー
東京大学文学部卒 都留文科大特任教授
NPO法人日本トレッキング協会会長

1973年(昭和48年)NHK入局。富山・旭川・東京・名古屋の勤務を経て、平成10年より東京アナウンス室に所属、NHKのエグゼクティブアナウンサーを経て、現在はフリーのアナウンサーとして活躍。

これまでの主な担当番組は、「ぐるっと海道3万キロ」「日曜美術館」「食卓の王様」「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」「小さな旅」「おーい日本」など数々の人気番組を担当し、現在団塊世代の充実したセカンドライフを提案する「団塊スタイル」(NHKEテレ)に出演。趣味、好きなことは溪流釣りや酒。



んか？先生が待っています。」こちら
は「夕方には収録が終わるので」と
繰り返すのみ。収録が終わるとすぐ
医師と看護師がスタジオにやってきた。
驚いたことに車いすに乗れという。
じゅうぶん歩けるのと恥ずかしいのと
で何度も断ったのだが、ここでもめて
も仕方ない。降伏した。そのうえ自分
はタクシーでいくつもりだったのだが、
救急車がサイレンを鳴らしてやってき
た。何事があったのかと人だかりがで
きた。「おお、クニイ。どうした？」
と聞くものもある。こんな時に詳しい
説明などできるわけがない。口をもご
もごして救急車中の人となった。

今振り返れば、あの若い医師に本
当に感謝している。車いすも救急車も
決して大げさではなかったのだ。私の
冠状動脈には通常の十分の一しか血
液が流れなくなっていて、ちよつとし
た拍子に心筋梗塞をおこす危険性が
きわめて高かったのだ。そのうえカ
テーテル手術は極めて順調に終わった。
実を言うと、手術は長ければ数時間
かかる説明を受けていたのだが、一
時間足らずで終わった。担当医はその
朗報を家族に少しでも早く伝えよう
としたのだろう。廊下を走ってやって
きたという。妻は早とちりして手術は
失敗したと誤解した。後で聞くと、
通夜や葬儀のことまで瞬間的に思い

浮かべたという。笑い話で済んだわけ
だが、ともあれ、心臓動脈にステント
（金属製の管）を入れて血液の流れを
確保した。次の仕事がせまっていたた
め三日入院しただけで済んだ。

「小さな旅」で「山のアナウンサーに」

2005年に「プロジェクト
X」が終わり、翌年定年を迎
えたが、契約社員として引き続
きNHKの番組を担当すること
になった。日曜朝の総合テレビ
放送の「小さな旅」だ。

大野雄二さん作曲のテーマ曲
は誰でも一度は聞いたことがあるだろ
う長寿番組である。この番組の年間
スケジュールの中に山シリーズがある。
春か秋に二、三か所の山に登る。30
00メートル級の山もある。「いやー
困ったなー」が率直な思いだった。心
臓のこともあるが、つらい坂道を重い
荷物を背負って歩くなんてとてもじゃ
ないのだ。つまり嫌いなのだ。診療所
の医師に相談してみたら「絶対やめた
ほうが良い」という。山シリーズの時
だけ、ほかのアナウンサーに代わって
もらえという。これで山に登らなくて
もいい絶好の言い訳ができたわけだが
果たして辛い時だけ人にたのむ。それ
でいいのだろうか？「これは沽券にか
かわる。」とかなんとか迷った末、し

まいには大病院で検査を受けた。
運動しながら血圧や不整脈、心電図
の変化を見るもので、ゆっくり休んで
登れば、三千メートル級の山でも大丈
夫だろうという結果だった。これで山
に登ることになるのだが、喜んでいい
のやら、複雑な気持だった。

結局、「小さな旅」を十年間担当
し、十七の山の頂上にたった。早池峰
山、利尻山、屋久島の宮之浦岳、大
山、等々。中には絶望的な思いで登っ
た甲斐駒ヶ岳（標高2967m）もあ
る。日本三大急登で知られ、あまり
に急峻だった。途中、登頂を諦め下
山やむなしとまで追い込まれたが、な
んとか乗り越えた。カメラマンのイン
タビューに「仕事でなければ、こんな
山登るものか！」と答えたらそのまま
放送された。

毎年、山シリーズの季節を緊張と
不安の中に向かえた。今回はどんな
山だろう？初めての山になにか期待す
るようこともあった。しかし「山男」
のように山を愛しているわけではない。
山シリーズは特集などに形を変え、
度々放送されたから、私はいつの間
にか健脚自慢の「山のアナウンサー」と
なった。NPO法人「日本トレッキン
グ協会」の形ばかりの会長としてまっ
りあげられたのも当時の協会理事た
ちの誤解によるものだったのである！

父は心筋梗塞で、わたしは？

心臓に不安を感じながらもなんと
か山々の頂上に立つことができた。素
人判断だが、苦しみながらも一歩一
歩ゆつくりと登ったことや、山の澄ん
だ空気を胸いっぱい吸ったことが、逆
に心臓に良い作用を及ぼしたのではな
いか、という気もする。

ところで私の父は七十歳で亡
くなった。死因は心筋梗塞だっ
た。二月の冷え込みの厳しい日
だった。父の長年の友人が心筋
梗塞で亡くなり、その葬儀で弔
辞を読んだ後、自分の席に戻
り倒れた。殆ど即死状態だった
という。山梨の実家に駆けつけ、
父の身体に触るとまだ温かった。胸
部に赤紫の痕がにじんでいた。まこと
にあっけない死だった。

心臓の病気は遺伝することがある
と聞いていたし、ステントを入れたり
しているから、自分はつきり父と同
じ病気で死ぬだろうと思っていた。い
や期待していた。というのもも癌で死ぬ
より苦しまないで、あの世にいけると
思っていたからだ。父のように苦しま
ず、周りに迷惑をかけずにさっそ
と！ところがさっすまくは問屋がおる
さなかった。〈後編につづく〉
※後編は次号に掲載します。



社会福祉法人東京福祉会
理事長 原山 陽一



東京都福祉保健局
生活福祉部
保護課長 野村 泰洋様



東京都福祉保健局
次長 松川 桂子様

東京福祉会では、去る10月26日に練馬区の江古田斎場において、また11月1日には国立市のホール多摩国立において、聖恩山霊園 堀内是長導師の読経のもと聖恩山霊園納骨物故者永代慰霊法要を執り行いました。

慰霊法要には、各福祉事務所と各施設の皆様にご参列いただき、当会からも理事長を始め役員、職員が参列いたしました。江古田斎場では、東京都福祉保健局次長松川桂子様、ホール多摩国立では、東京都福祉保健局 生活福祉部 保護課長野村泰洋様にそれぞれ丁寧なご挨拶を賜りました。

慰霊法要の終盤には、当会の法人案内のDVDをご覧いただき、また慰霊法要後には各斎場内にて納骨堂、面会室、実際に使用する葬具等を見学し

ていただきながら、当会についてのご理解を深めていただきました。

読経や法話に真剣な面持ちで耳を傾け、ご質問も交えながら見学される皆様のご様子に、故人様を偲ぶお気持ちごひしひしと感じられ、私共も改めて身の引き締まる思いでありました。

今後とも各福祉事務所、各施設の皆様より託された御霊を、心を込めてお守りしていく所存でございます。

ご関係の皆様におかれましては、ご多忙とは存じますが、是非とも年に一度の法要にご参列を賜りますようお願い申し上げます。

最後となりますが、ご参列いただきました皆様方には、この場をお借りいたしました心より御礼申し上げます。



創立100周年記念 会友Bプラン加入キャンペーン

東京福祉会「会友Bプラン」
加入をご検討中の皆様へ、
キャンペーンのお知らせです。

1919年(大正8年)に「財団法人
助葬会」として設立された東京福祉会
は、2019年11月6日に創立100周年
を迎えます。

それを記念して、**期間中会友Bプラン
にご加入いただいた方に記念プレゼ
ントを差し上げる「カウントダウンキャ
ンペーン」を実施しております!**

すでに会友Aプランにご加入の方で
会友Bプランに変更される方も対象で
す。

知人の方を紹介していただき、ご加
入となった場合に紹介者様・新規ご加
入者様双方にQ.U.Oカードを差し上げ
る「ご紹介制度」との併用も可能です。

この機会に、是非会友Bプランにご
加入又はご勧誘ください。

【キャンペーン締切】

2019年3月31日お申込み分まで
(消印有効)

【キャンペーン内容】

期間中にご加入いただいた方にプレゼ
ントをお届けします。

(①～③より一つお選びください)

①スイーツアソート〈Fika〉

三越伊勢丹限定のオリジナルブラン
ド〈Fika〉クッキーセット。

北欧伝統菓子をイメージしたクッキ
ーと、愛らしいパッケージで大人気の商品
です。

②レトルトスープ詰合せ〈帝国ホテル〉

冷温どちらでも美味しく召し上が
っていただけ、帝国ホテル監修のスー
プセットです。熟練の技で素材の「旨み」
をいかした、伝統の味わいをお楽しま
ください。

③タオルセット

〈ロイヤルコペンハーゲン〉

ロイヤルコペンハーゲンの伝統のモ
チーフに彩られた、上質なタオルセット。
縁にレースがあしらわれた、エレガ
ントなデザインです。

【会友Bプランお申込み方法】

ホームページ入力フォームよりお申
込みいただくか、お電話にて会友加入
案内をご請求ください。後日、振込用紙
をお送りいたしますので、郵便局より加
入金のお振込みをお願いします。
※直営斎場でも、お申し込みを承りま
す。その際は印鑑をご持参ください。

創立100周年記念
特設ページができました

100周年のキャンペーンや100周年に向
けた想い、式典等様々な内容を発表を
する場として、100周年記念ページを開
設いたしました。

「会友Bプラン加入キャンペーン」専
用ページもございますので、是非チェッ
クしてみてください。

1. スイーツアソート (洋菓子)〈Fika〉



【内容】ハロングロツトル(ストロベリー)×5枚、
ペッパルカー・コル(スパイスクッキー)×8枚、
ダーラヘストクッキー×2枚、
ミュークペッパルカー・カ(スパイスケーキ)×1個
※消費・賞味期間・常温で30日間

2. レトルトスープ詰合せ 〈帝国ホテル〉



【内容】コーンクリームスープ(粒入り)、
トマトスープ、野菜スープ 各150g

3. タオルセット 〈ロイヤルコペンハーゲン〉



【内容】綿100%
フェイスタオル:約34×80cm、
ウォッシュタオル:約34×35cm

【キャンペーンお問い合わせ先】

東京福祉会 渉外部 ☎0120-00-5677(受付時間9:00~17:00)

トップページ <http://www.fukushikai.com/anniversary>

キャンペーンページ http://www.fukushikai.com/anniversary_campaign

キャンペーン
ページ▶



東京福祉会からのお知らせ



人形・ぬいぐるみ供養のご案内

僧侶による読経と、皆様のお焼香によって供養させていただきます。

なお、お預かりしたお人形の総数によって、法要会場に飾りきれない可能性があります。

飾ることができなかったお人形については、翌日以降に職員立ち合いの元、読経供養を執り行わせていただきます。何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

■受付方法

お預かり期間内に、各直営斎場にお人形と申込用紙をご持参ください。

申込用紙は、この「東京福祉会だより響」の宛名裏面に印刷されています。必要事項を記入してお持ちください。

※申し訳ございませんが、郵送によるお預かりはいたしかねます。

お預かり場所
道灌山会館／文京区千駄木3-52-1 江古田斎場／練馬区小竹町1-61-1 ホール多摩国立／国立市谷保892-1
お預かり期間
平成31年2月16日(土)～3月1日(金) 10:00～15:00
お預かり費用
無料
法要開催日
平成31年3月2日(土) 11:00～12:00 於 江古田斎場 唯心堂

■お預かりできるもの

お人形、ぬいぐるみ(お人形が手に持っている道具類も含みます)

◎材質：制限なし

◎容量：60cm×横43cm×高さ45cmの1箱に納められる分まで

※箱は東京福祉会でご用意しています。ご自宅から運ぶ際に使用された箱や袋などは、お持ち帰りをお願いいたします。



■お預かりできないもの

お人形・ぬいぐるみ以外のおもちゃ類
仏像など宗教用具、はく製、お面、兜・鏡飾り、ひな壇や桜・橘などお人形の付属品、収納ケース(ガラスケース、ひな人形個別収納箱など)



お預かりの可否など、不明点は渉外部までお問い合わせください。

資料請求

ご葬儀に関する詳しい資料(料金、式場等)をご用意しています。下記連絡先までお気軽にご請求ください。

- ① 葬祭料金のご案内
(近親葬のご案内含む)
- ② 道灌山会館限定プランのご案内
- ③ ホール多摩国立限定
シルクフラワー祭壇のご案内
- ④ ご火葬のみプランのご案内
- ⑤ 道灌山会館のご案内
- ⑥ 江古田斎場のご案内
- ⑦ ホール多摩国立のご案内
- ⑧ 聖恩山霊園のご案内
- ⑨ 会友制度(キャンペーン)のご案内



お問い合わせ・お申し込み

〈電話〉 ☎0120-00-5677 東京福祉会 渉外部

〈E-mail〉 info@fukushikai.com

〈URL〉 <http://www.fukushikai.com>

東京福祉会

検索



「東京福祉会だより(響)」は再生紙を使用しています。